

令和6年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

河合振興事務所



目 次

天生の森と人のプロジェクトの推進	3
止利仏師伝説の伝承	4
飛騨河合音楽の郷の推進	5

拡充 天生の森と人のプロジェクトの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】										
9,376	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">県補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,385</td> </tr> <tr> <td>ふるさと納税</td> <td style="text-align: right;">6,991</td> </tr> </table>	県補助金	2,385	ふるさと納税	6,991	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">工事請負費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">5,300</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">2,500</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,576</td> </tr> </table>	工事請負費	5,300	負担金	2,500	その他	1,576
県補助金	2,385											
ふるさと納税	6,991											
工事請負費	5,300											
負担金	2,500											
その他	1,576											
(前年度予算 8,526)												

2 事業背景・目的

河合町のシンボルである「天生の森」は、貴重な高山植物やサンショウウオが生息するなど豊かな自然生態系が残されており、初心者向けの湿原散策から登山者向けの靱糠山まで幅広いニーズに応えるフィールドとして、毎年4～5千人の自然愛好者が訪れています。市では、この貴重な森を守り次世代へ継承していくため、令和元年度に環境デザイン計画を策定し、森の保全をはじめ、湿原の陸地化対策やトイレの改善などの課題を解消してきました。令和3年度からは公園内での安全対策として分かりやすい園内情報サインの設置工事を開始し、令和4年度には日本サインデザイン賞「銀賞」を受賞するなど、森と人が相互に作用しあう持続可能な取組みとして高い評価を受けています。

令和6年度では、公園名を冠した大型サインを設置するほか、専門家の指導を得ながら湿原の保全活動を実施します。また、木道修理に必要な資材運搬車を更新するなど自然環境の保全と活用とのバランスを考慮した森の運用を進めていきます。

3 事業概要

①【拡充】自然環境に配慮した登山者向け情報サインの整備 (5,300千円)

公園の入口に天生の森のイメージを印象付ける大型サインと園内紹介のインフォメーションサインを整備します。なお、県産材をベースに河合町産の木酢液を塗布することで獣害を防ぐ天生県立自然公園オリジナル工法により施工します。

②【継続】天生湿原における植生保護作業の実施 (300千円)

専門家による現地調査結果を踏まえて湿原の陸地化が進む要素を取り除くため、アブラガヤ等の刈取作業を実施し、湿原の維持・保全に努めます。

③【継続】天生の森の環境保全管理と後継者の育成 (3,776千円)

天生県立自然公園協議会を中心とした保全パトロールや獣害対策等を継続実施します。また、資材運搬車を更新し保全活動における労力軽減を図るとともに、公募ボランティアによる近自然工法ワークショップを開催し、森を守り伝える後継者の育成を図ります。

担当課：河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書：P.56

拡充 止利仏師伝説の伝承

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,487	ふるさと納税 2,487	委託料 2,418
		その他 69
(前年度予算 4,537)		

2 事業背景・目的

河合町には、法隆寺金堂の釈迦三尊像や飛鳥大仏を作ったと言われる“止利仏師”生誕の地という伝説が残っています。地元ではこの伝説をテーマにした民話劇や匠太鼓の継承活動が行われていますが、時代の推移とともに市内での止利仏師伝説の認知度は徐々に低下しつつあります。

このことから、令和2年度から地域資源の天生の森と止利仏師に光を当て、「飛驒の匠」との関連性について調査研究を行い、その成果を令和4、5年度に企画展として一般公開したところ、延べ1,400人余りが来場するなど大きな反響を呼びました。

令和6年度は、この伝説が色あせることなく次世代へ着実に受け継がれていく仕組みづくりのため、地元有志による顕彰会が中心となって伝説の地であることを表示するサイン設置計画を策定するほか、奈良県へ止利仏師の足跡を辿るバスツアーを企画・催行するなど、止利仏師伝説をテーマとしたまちづくり活動を行います。

3 事業概要

①【新規】止利仏師伝説の探求とサイン計画の策定 (1,470千円)

地元有志による「飛驒河合止利仏師顕彰会」を中心として、天生の森に設置したサインデザインの流れを踏襲した止利仏師伝説発祥の地に相応しいサイン設置計画を策定します。また、参加者に悠久の歴史ロマンを体感してもらうゆかりの地ガイドツアーの催行や止利仏師を題材にしたまちづくり活動を行います。

②【新規】止利仏師伝説バスツアーの実施 (571千円)

旧河合村と交流があった奈良県河合町に止利仏師作の仏像が祀られている寺院があることから、仏像等を実見するなど止利仏師が活躍した地域を体感いただくためのゆかりの地を辿るバスツアーを実施します。

③【新規】止利仏師伝説アーカイブホームページの整備 (446千円)

取組みを広く周知するため、止利仏師伝説に関する記録や企画展で頒布した図録、取材映像のほか顕彰会の活動記録などホームページを通じて情報発信します。

担当課：河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書：P.56

拡充 飛騨河合音楽の郷の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,300	ふるさと納税 (特定目的) 6,300	委託料 2,850 負担金 3,450
(前年度予算 5,600)		

2 事業背景・目的

市では、旧河合村時代から、市内音楽文化の発展を目的として日本を代表するプロ奏者による「真夏の夜のコンサート」を開催するとともに、若手音楽家の育成・輩出を目的とした「飛騨河合音楽コンクール」を実施してきました。これらの取組みによって飛騨市は全国から音楽家が集うまちとして徐々に認知されつつあります。

令和6年度は、コンサート及びコンクールを継続して実施し、市内の音楽文化の普及・推進を図るとともに、活動内容を市内外に積極的に発信・広報することで、取組みを支える市民団体の協力者や全国から応援して下さる方々を増やしなが、音楽によるまちづくりを推進します。

3 事業概要

①【拡充】飛騨河合音楽コンクールの開催 (2,630千円)

厳格な審査を目的とした2日間の日程はそのままに、市民参加型のコンクールを目指すため、来場者が「最も心に残った演奏者」を選ぶ「聴衆賞」を新たに設けます。

開催予定日：令和6年8月9日～10日 会場：飛騨市文化交流センター

②【拡充】飛騨河合音楽コンクール受賞記念演奏会“リサイタル”の開催 (820千円)

令和5年度グランプリ受賞者による受賞記念リサイタルを開催します。飛騨市を舞台とした若手音楽家の育成を市内外にPRするため、会場及び日程を拡充します。

開催日：未定 会場：飛騨市文化交流センター及び船津座

③【継続】市内でのクラシック音楽鑑賞機会の提供 (2,850千円)

国内屈指の演奏家と若手のコンクール受賞者で構成される「飛騨マスタープレイヤーズ」のメンバーや「飛騨室内楽セミナー」の受講生による演奏会を、8月4日～7日の間に市内各地で開催します。クラシック音楽とふれあう機会を場所や形式を変えて設けることで、市内の音楽文化の普及・推進を図ります。